

株式会社 K-WORKS

DX宣言書

2024年11月18日
株式会社 K-WORKS
代表取締役 小林 勇貴

□ 経営理念

情熱をもって独自の視点を育み「未来への発想」と「社会との調和」を追求する
企業として誠実な事業活動を行い従業員の幸福と社会への貢献を目指す

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術を活用した情報の見える化、業務の標準化を推進し、効率的かつ安定した成果を出せる体制を構築します
- ◆ 業務効率化やコスト削減を図り、収益性を向上させ、給与や賞与として従業員へ還元するとともに、フレキシブルな働き方を可能とする制度を整え、働きやすい職場環境を実現します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2025年4月)

戦略 「情報の見える化、業務効率化に向けたデジタル基盤の整備」

- 施策
- ・ デジタル技術の活用による業務改善ポイントを可視化するため、業務整理と課題の洗い出しを実施
 - ・ 上記課題解決に必要なITツールを選定・導入
 - ・ ペーパーレス化に向け、業務に最適なノートパソコン、タブレット、モニター等の設備を拡充
 - ・ 情報の見える化とペーパーレス化を推進するため、オンラインFAXや業務アプリ等を導入
 - ・ 安全なITツール活用に向けて情報の取り扱い等のセキュリティ対策ルールを設定し、勉強会を開催
 - ・ DX推進チームを設立し、業務効率化に向けた具体的なスケジュールを作成

➤ フェーズ2(2025年5月 ～ 2026年10月)

戦略 「業務効率化と働き方改革の推進」

- 施策
- ・ 各種社内情報をオンライン上で共有できるITツールを活用し、ノウハウ共有や引継ぎを円滑に行える環境を整備
 - ・ データに基づいた効率的な作業指示を行うため、管理者を対象としたトレーニングを実施
 - ・ デジタル環境の定着化に向けたサポートをDX推進チームが中心となり実施
 - ・ フレックスタイム制や短時間シフト等、様々な働き方に対応した勤務体制を構築し、働き方改革を推進
 - ・ 上記施策とあわせて、就業規則をいつでも確認できるよう電子化し、安心して働ける職場環境を整備
 - ・ 消耗品の購入記録や在庫状況をデータで管理できるようにし、コスト削減の意識を高めながら適正な在庫管理を実現

➤ フェーズ3(2026年11月 ～ 2027年10月)

戦略 「データ利活用による経営管理の強化と、更なるデジタル化の推進」

- 施策
- ・ 前フェーズまでに検討・実施されたデジタル化施策の完遂と、それに伴う課題・改善点の洗い出しを実施
 - ・ データ解析ツール等で蓄積されたデータを分析し、タイムリーな経営判断を可能とするデジタル基盤を整備
 - ・ ビジネスモデルの進化による企業価値向上を目的とした更なるデジタル化を検討
 - ・ 従業員が主体となった、デジタル化推進委員会等の社内仕組みづくりを推進

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ フレックスタイム制 : 開始(2026年10月～)
- ・ エンゲージメント調査 : 各カテゴリー 5段階評価中 平均3.5ポイント以上(～2027年10月)
- ・ 紙の使用量削減 : 2023年度比 50%削減(～2027年10月)